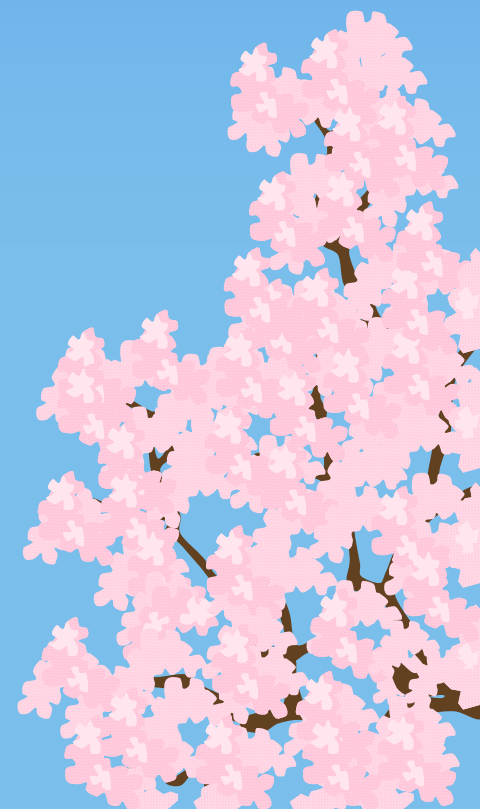
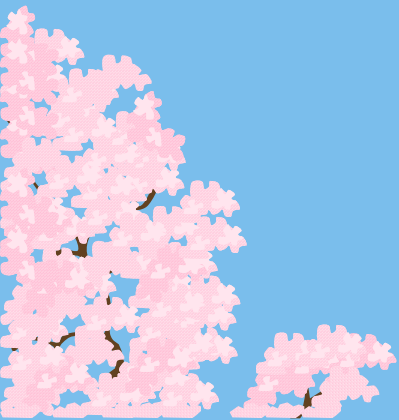


「中央アジア」は ユーラシアの真ん中

2009, 9. 26

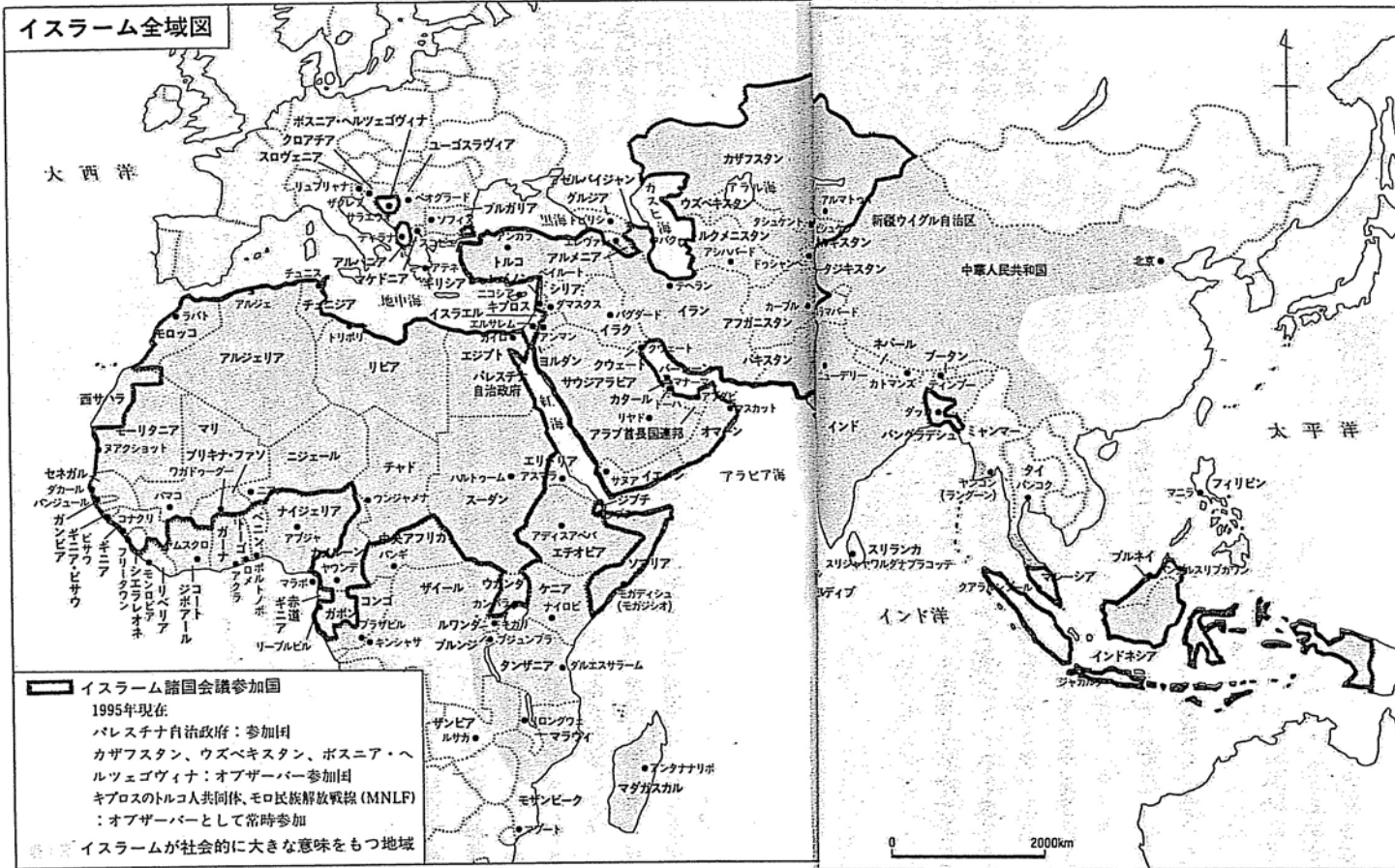
河東哲夫(かわとうあきお)

www.japan-world-trends.com



- ユーラシアはひとつ
- ギリシャも中国も、個別に発展したのではない
- 中央部(=「オリエント」)はユーラシアのアンコ

中国もインドもギリシャもロシアも



歴史地図

前4～前3世紀(アレクサンドロス大王とヘレニズムの時代)

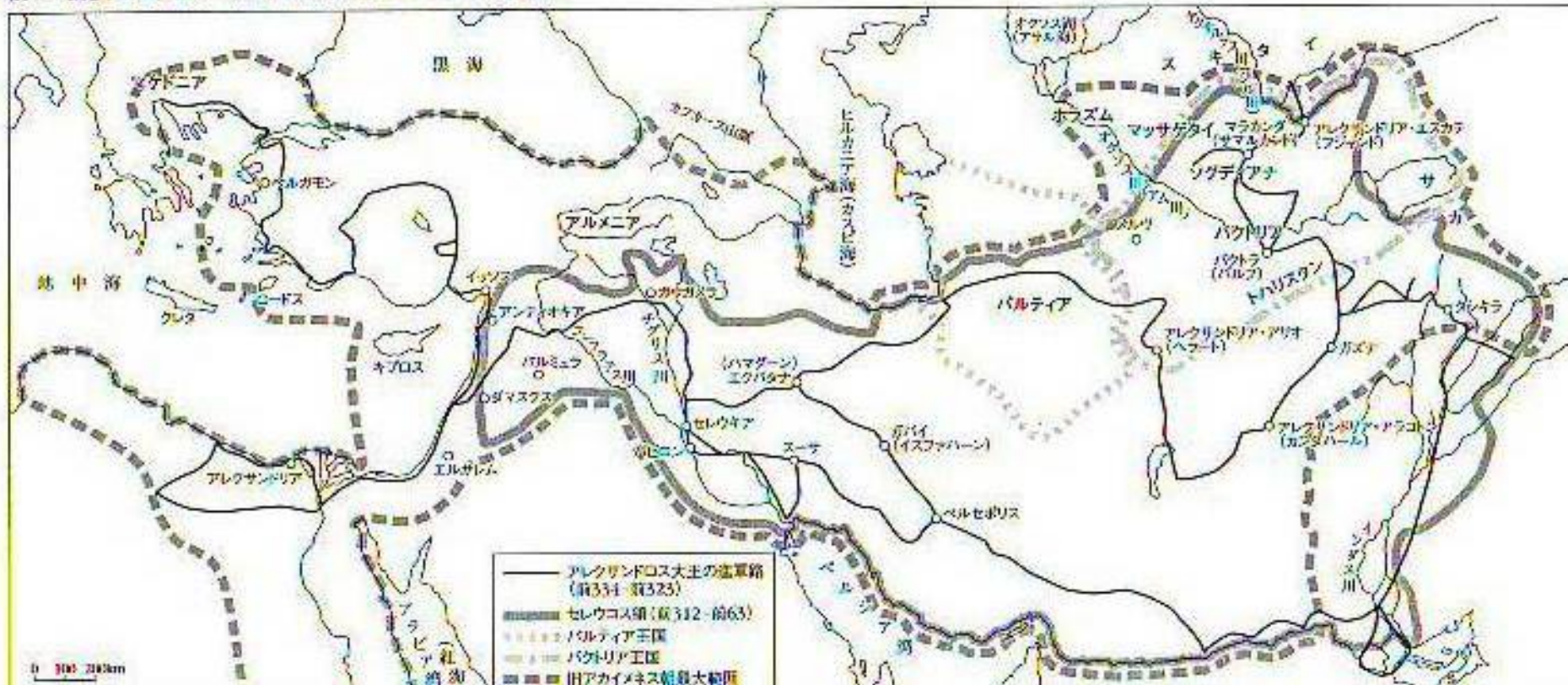
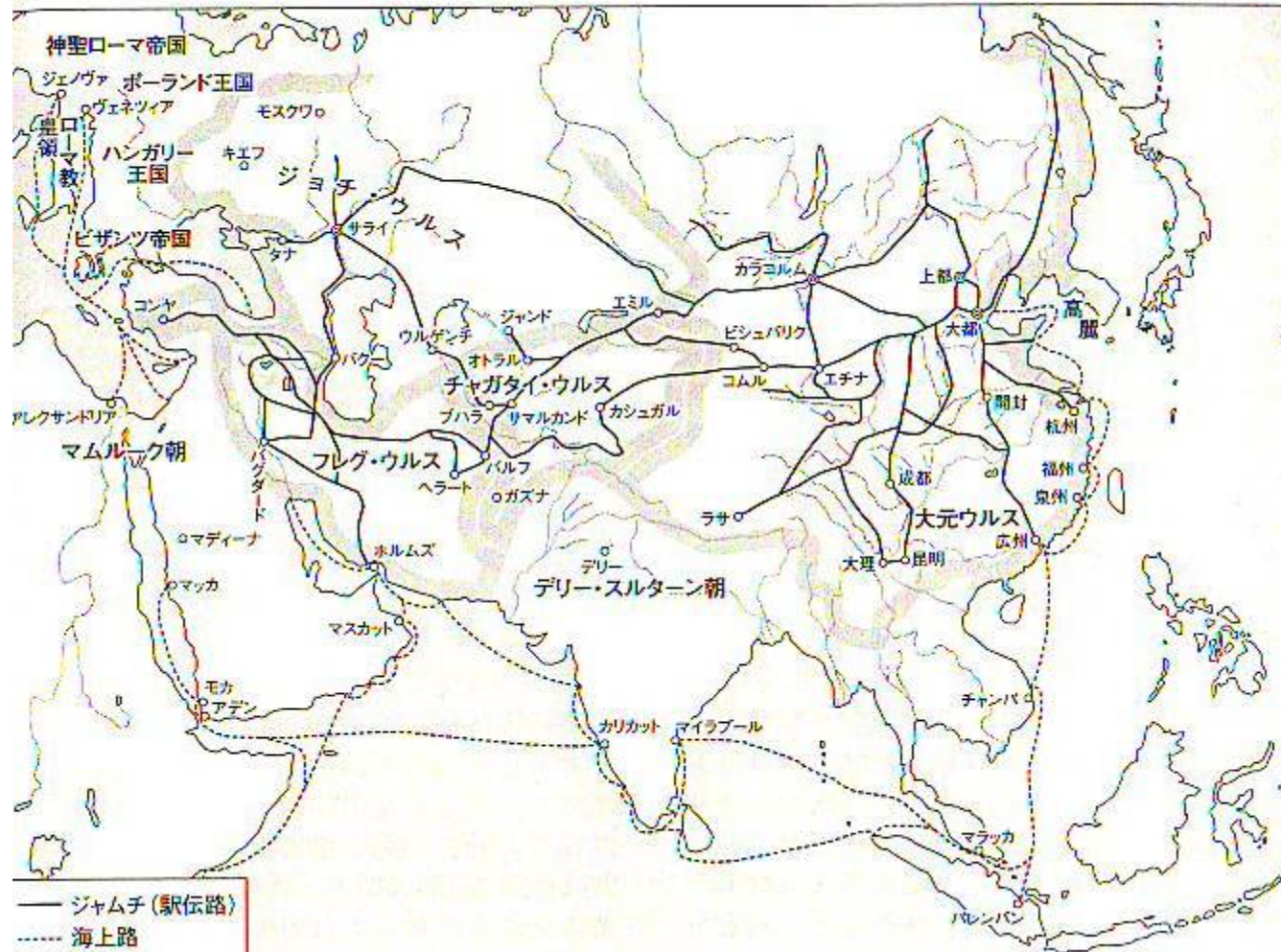


図13～14世紀のモンゴル帝国と主要交通路



誤解を正す

- 「オアシス」？ 「砂漠」？

〔チグリス
ユーフラテス〕

〔黄河
揚子江〕

〔アムダリヤ
シルダリヤ〕

- 「シルクロード」への不可解なあこがれ
(西⇒東ではなく、東⇒西だった)
- 「中央アジアはロシアの一部」
- 「遅れた地域」

現代的



オリエント史概観

- 中央アジア、ペルシア、エジプト等諸勢力
- →アラブによる統一(700年代)
- →トルコ系による権力篡奪(800年代)
- →モンゴル侵入(1200年代)
- →トルコ系による支配(チムール帝国、オスマン、ウズベク)
- →ロシアの侵入
トルコ圏、イランとの鼎立
- ⇒中央アジアは多民族・多言語地帯
現在の中央アジア「五カ国」は史上初めて

古くて新しい中央アジア五カ国 歴史の遺産

- 巧みな外交
- 西欧の近世に相当する時期を経過していない
(ルネサンス、宗教改革、国民国家、産業革命)
- 都市国家の集まりだった
 - ⇒ 地域・部族ごとの利益集団＝「クラン」の強さ
 - ⇒ 拳とバランスで統治、それは利権と不可分
 - ＝「権威主義」
- 統治者に利権が集中＋社会主義計画経済＋生産力不足
 - ⇒ ビジネスには特別のスキルが必要



2008年10月現

中央アジア各国概況(外務省作成)

○カザフスタン

域内最大の国土面積(約272万km²。日本の約7倍)。人口1480万人。ナザルバエフ大統領の下、政治情勢は安定。石油・天然ガス、ウラン鉱等のエネルギー資源及び鉱物資源が豊富。石油輸出の伸び・資源価格の高騰を背景に急速な経済成長を遂げ、中央アジアの経済力。

○ウズベキスタン

域内で人口最大(2740万人)。面積約45万km²(日本の約1.2倍)。カリモフ大統領が強大な権力を有する体制。漸進主義的な改革を標榜し、経済は比較的好調。2005年5月のアンディジャン騒擾事件を巡り、欧米諸国との関係が悪化し(米軍の撤退等)、ロシアとの関係を強化(露・ウズベク同盟関係条約の締結等)したが、最近では欧米との関係改善を模索する動きあり。

○キルギス

人口540万人。面積約20万km²(日本の半分強)。旧ソ連の中で、いち早く民主化及び市場経済化を軸とした改革路線を打ち出し、WTO加盟も果たす(1998年)。しかし、資源に乏しく、経済的には伸び悩み。2005年3月、アカーエフ政権崩壊。バキーエフ政権の下、改革が進まず、政情不安定であったが、07年12月の議会選で親大統領政党が圧勝し、大統領の権力強化が進行。

○タジキスタン

人口670万人。面積約14万km²(日本の約4割)。独立直後から1997年までの内戦により荒廃。ラフモン政権の下、治安は安定してきた一方、近年、大統領への権力集中が進行。中央アジアの最貧国(2007年の一人あたりGDPは513.3米ドル)。

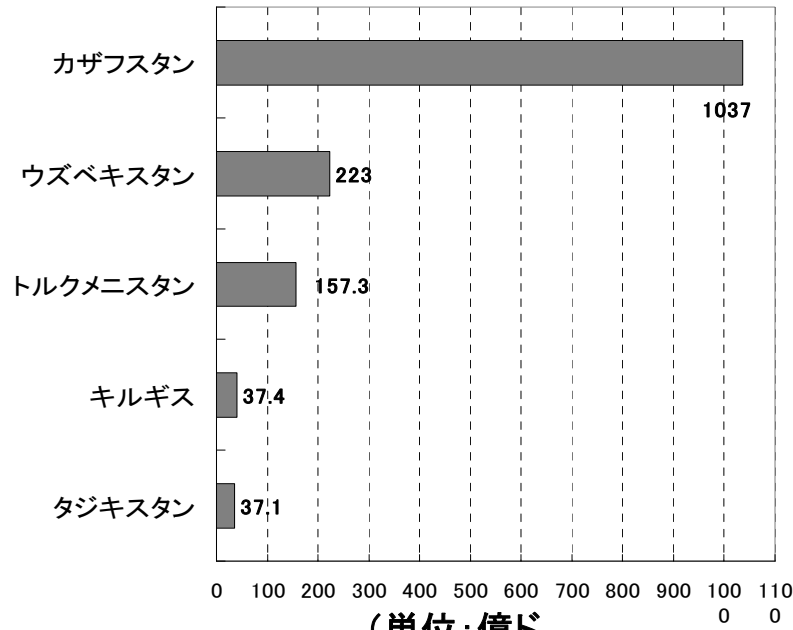
○トルクメニスタン

人口500万人。面積約49万km²(日本の約1.3倍)。豊富な天然ガス資源を有する。個人崇拜的な独裁体制を造り上げていたニヤゾフ大統領の死去(2006年12月)後、2007年2月の大統領選挙でベルディムハメドフ(前副首相)が当選し、大統領に就任。ニヤゾフ路線の継承を唱えつつも、教育分野の重視など新たな政策を打ち出し、外交活動も活発化させている。

中央アジア諸国の経済力比較(外務省作成)

GDP総額

(2007年EBRD推定値)

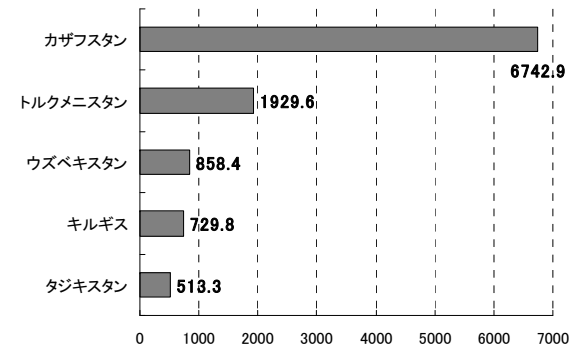


(注) 日本: 約4兆3837億ドル

(2007年IMF)

一人当たりGDP

(2007年EBRD推定値)



(注) 日本: 約3万4252ドル

(2007年内閣府発表国民経済計算)

目のつけどころ

- 中央アジア各国の安定と発展
- ロシア、中国、米国、EU、イラン、トルコとの関係
- アフガニスタン情勢との関係
(タリバン、IMUの北上
米軍、NATO軍物資の搬入基地・経路
アフガン北部のウズベク、タジク、トルクメン族の動向)
- トルクメニスタンの天然ガス、カザフスタンの石油の買い手、パイプラインの地政学

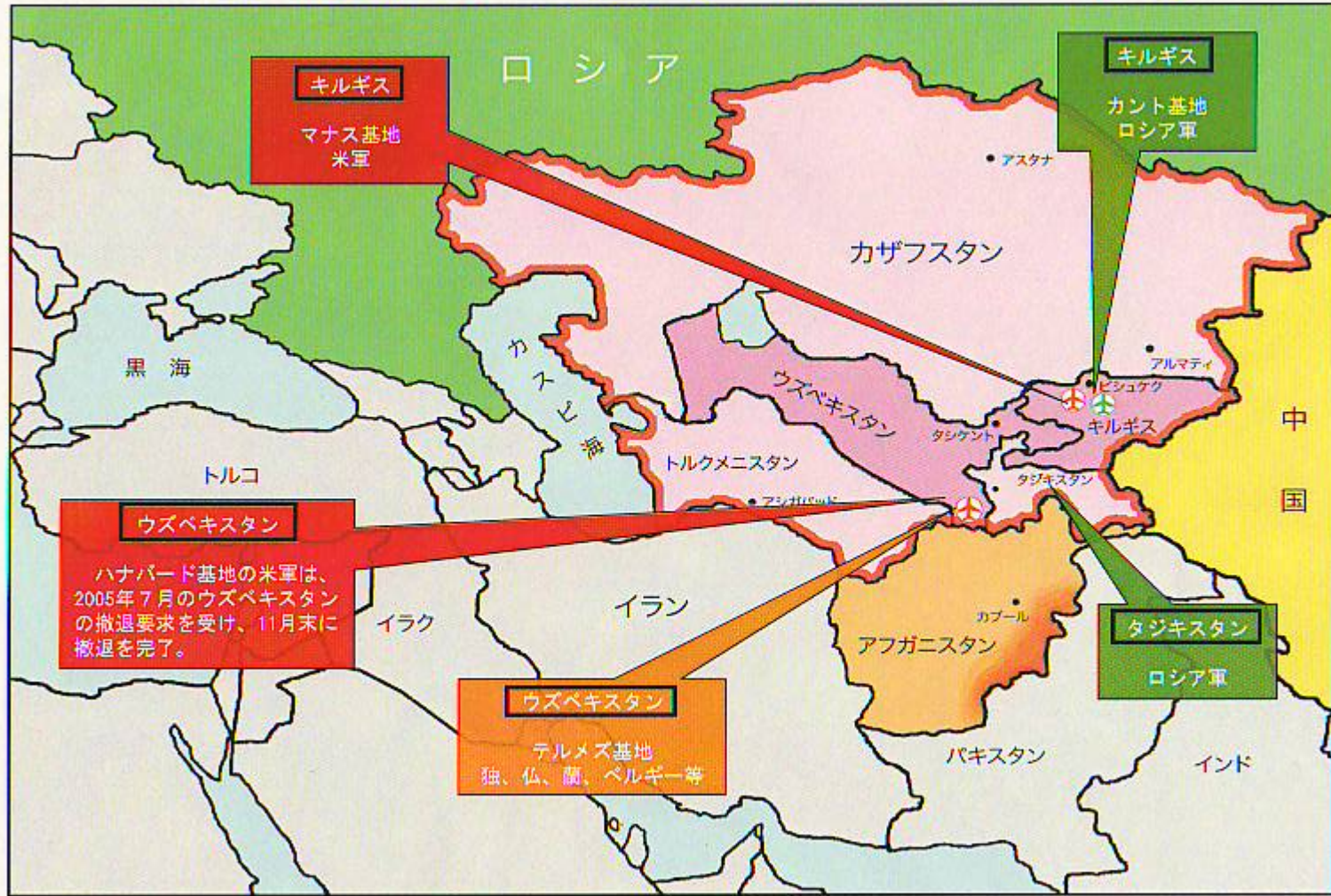
“Great Game”の再来？

(真剣なのはロシアだけ？)

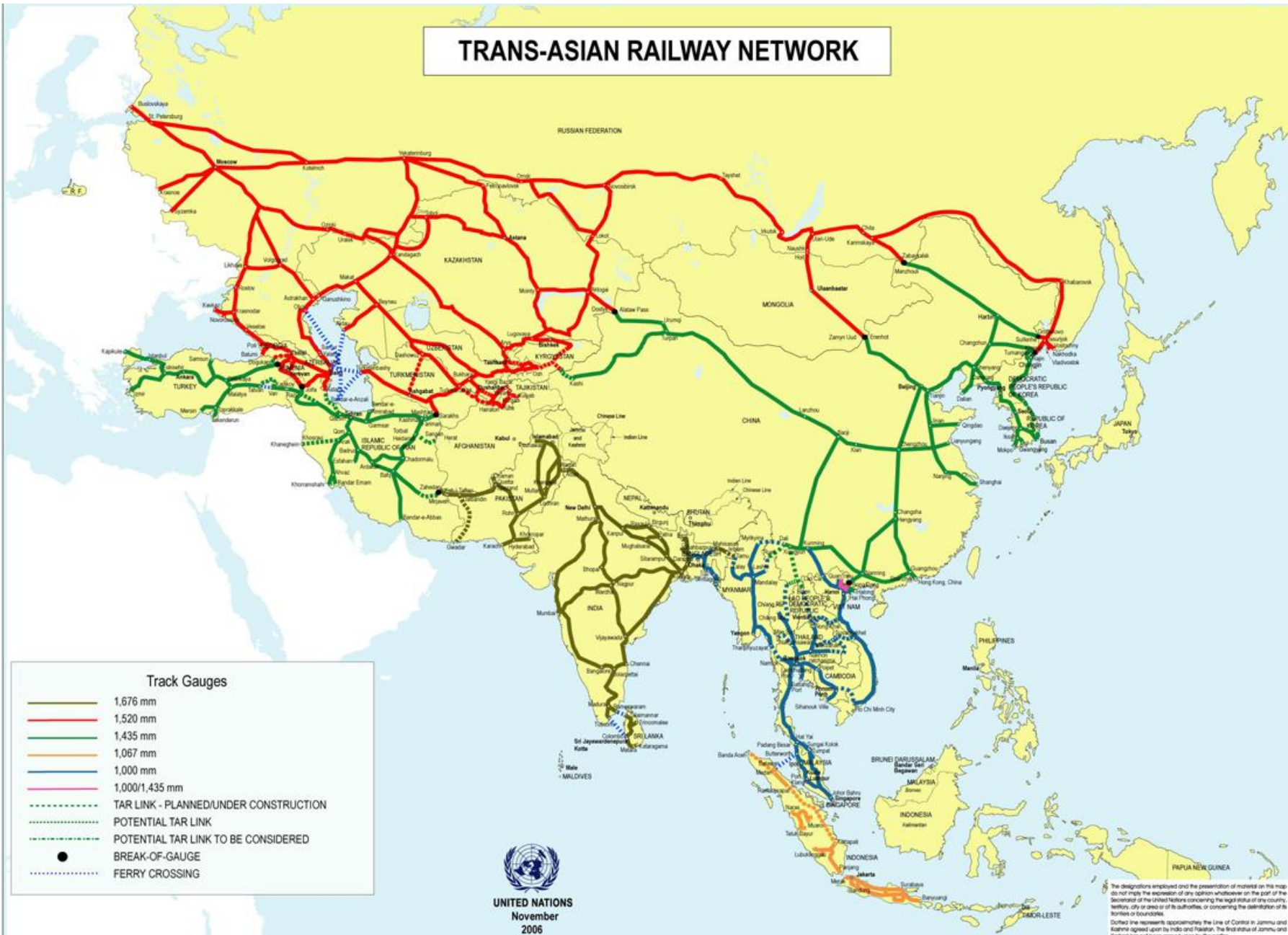
- 米国： ハナバード(ウズベキスタン)、
マナス(キルギス)

(ロシア、中央アジアを通過して物資をアフガニスタンに搬入)

「9.11」以降の中央アジアにおける外国軍駐留



TRANS-ASIAN RAILWAY NETWORK



- Track Gauges**
- 1,676 mm
 - 1,520 mm
 - 1,435 mm
 - 1,067 mm
 - 1,000 mm
 - 1,000/1,435 mm
 - - - - - TAR LINK - PLANNED/UNDER CONSTRUCTION
 - POTENTIAL TAR LINK
 - POTENTIAL TAR LINK TO BE CONSIDERED
 - BREAK-OF-GAUGE
 - FERRY CROSSING



UNITED NATIONS
November
2006

The designations employed and the presentation of material on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the Secretariat of the United Nations concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted line represents approximately the Line of Control in Jammu and Kashmir agreed upon by India and Pakistan. The final status of Jammu and Kashmir has not been agreed upon by the parties.

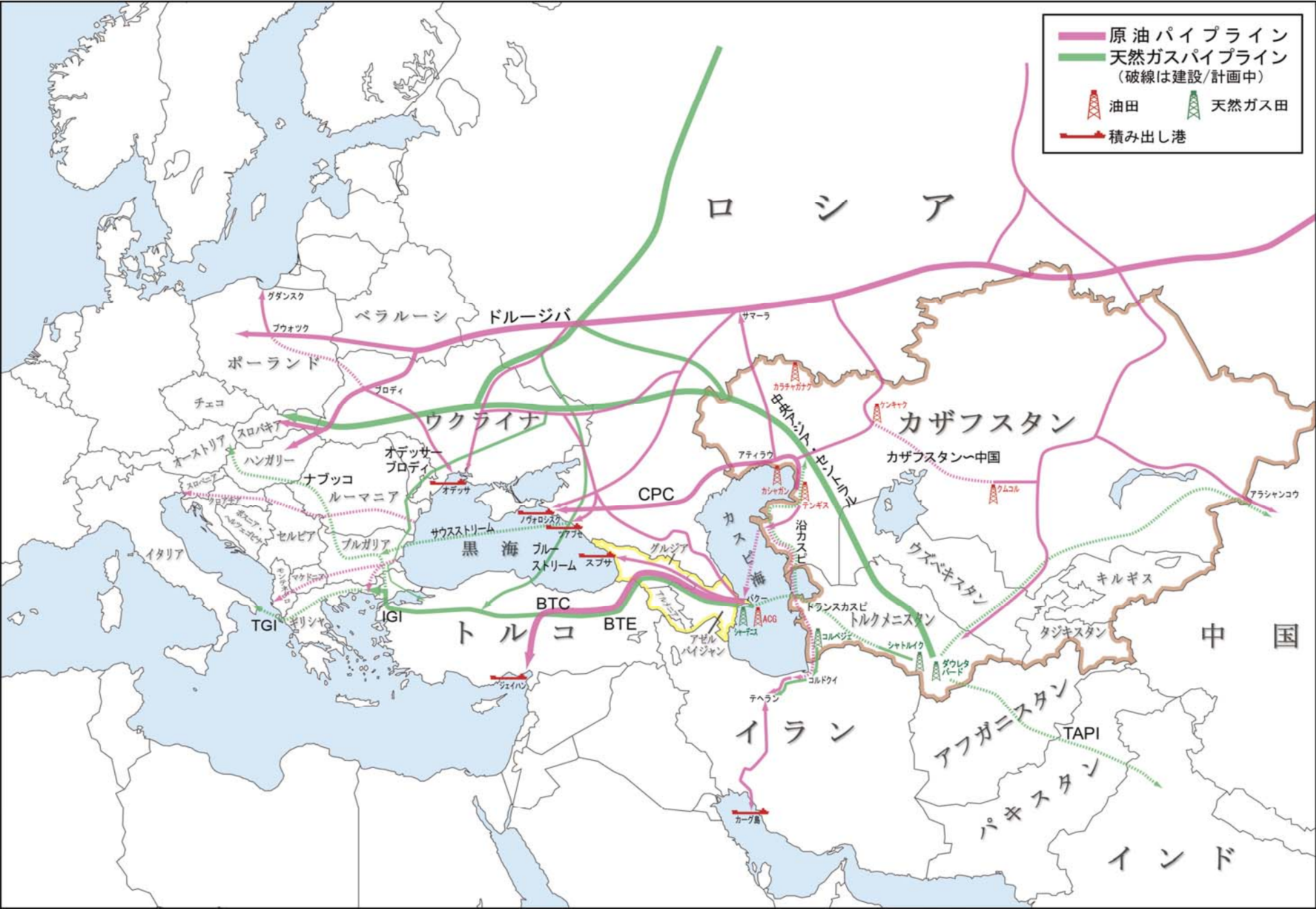
ロシアのプレゼンス

- 元々、中央アジアはモスクワから持ち出し
- 工業
- 資源(ウランも)開発、搬出、販売
- ロシア語での教育・文献の蓄積
面白いテレビ
- 出稼ぎ先として重要
- 「ロシアは改革が進んでいる」、「相手にしてくれる」



ロシアはブランド、ソーシャル・ステータス

中央アジア、カスピ海周辺からのエネルギー輸送パイプライン



中央アジア、カスピ海周辺のエネルギー事情(外務省作成)

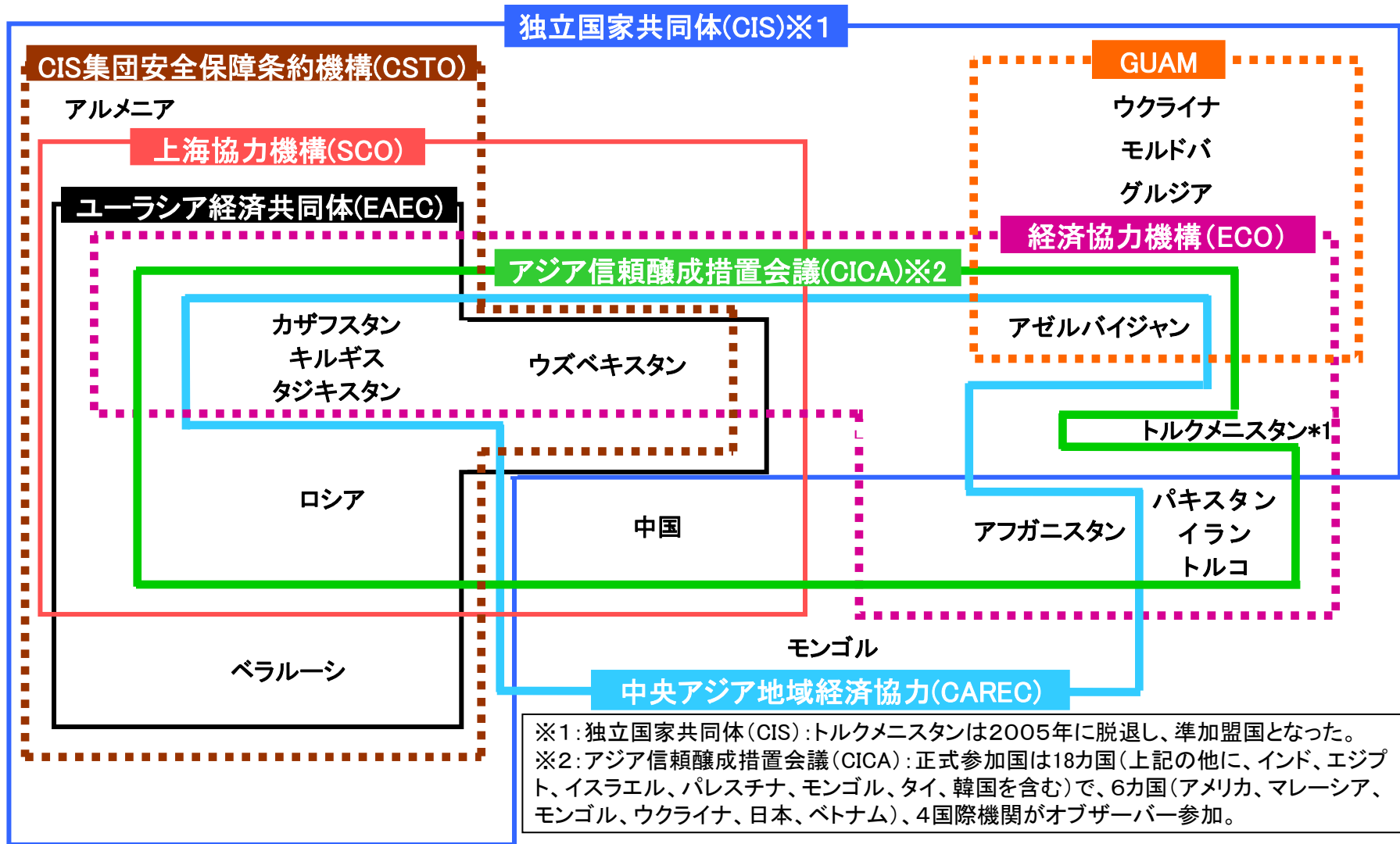
	原油				天然ガス			
	確認埋蔵量		生産量		確認埋蔵量		生産量	
	億バレル	世界計に占める比率	万バレル/日	世界計に占める比率	兆立法メートル	世界計に占める比率	億立法メートル/年	世界計に占める比率
ウズベキスタン	6	※ 0.05%	11.4	0.1%	1.74	1.0%	585	2.0%
カザフスタン	398	3.2%	149.0	1.8%	1.90	1.1%	273	0.9%
トルクメニスタン	6	※ 0.05%	19.8	0.3%	2.67	1.5%	674	2.3%
※【中央アジア3カ アゼルバイジャン	410	3.3%	180.2	2.2%	6.31	3.6%	1,532	5.2%
ン	70	0.6%	86.8	1.1%	1.28	0.7%	103	0.3%
ロシア	794	6.4%	997.8	12.6%	44.65	25.2%	6,074	20.6%
中東	7,553	61.0%	2,517.6	0.8%	73.21	41.3%	3,558	12.1%
【世界計】	12,379		8,153.3		177.36		29,400	

(出所:BP統計2008。確認埋蔵量については2007年末時点、生産量については2007年実績。ただし、※については、BP統計を基に算出。)

注:日本の輸入量は、原油が約412万バレル/日、天然ガスが約888億立方メートル/年

組み合わせパズル

- NIS(新独立国家共同体)
(バルト諸国を除く旧ソ連)
- CSTO(集団安全保障条約機構)
(ロシア、ベラルーシ、アルメニア、トルクメニスタンを除く
中央アジア4カ国)
- SCO(上海協力機構)
(ロシア、中国、トルクメニスタンを除く中央アジア4カ国)
反テロのみ。経済協力も軍事協力も中露の思惑にずれ
- ユーラシア経済共同体
- その他、その他



CIS : Commonwealth of Independent States

EAEC : Eurasian Economic Community

GUAM : Georgia, Ukraine, Azerbaijan, and Moldova

CAREC : Central Asia Regional Economic Cooperation

CICA : Conference on Interaction and Confidence-Building Measures in ASIA

SCO : Shanghai Cooperation Organization

CSTO : Collective Security Treaty Organization

ECO : Economic Cooperation Organization